

鉄道ピクトリアル

2018年12月号増刊 Vol.68 No.12 通巻No.954

<特集> 近畿日本鉄道

■表紙 志摩線を行く5000系「しまかぜ」……………焼田 健

鳥羽一中之郷 2018-10-22

キヤノン EOS5DsR EF100-400mm F4.5-5.6L IS 絞り f 7.1 タイム1/800 ISO200

■グラフ

魅惑の近鉄電車 (1~8・177~181ページ)

福田静二・井上英樹・足立鷹祐・山中 茂・轟木路一
川井一彦・今井清一・岡本文彦・館 利彦・金子 聡
……………下嶋一浩・三島達夫・池田嘉孝・松好弘明・山口大助
森田 宏・河原義彦・与野正樹・和田京太・安田孝哉
富村哲男・井上遼一・井亀宏志

1970年代 思い出の近鉄電車 (182~183ページ)

…小林 武・佐藤 博・阿部一正・太田正行・浜村正弘・辻阪昭浩
他社で活躍する近鉄電車 (184ページ)

*

続 絵葉書にみる前史時代の近畿日本鉄道

……………所蔵と解説: 白土貞夫… 75

昭和の近鉄 あの時代……………構成: 編集部… 80

昭和30~50年代 近鉄特急の「顔」……………構成: 編集部… 84

近鉄高性能車の幕開け 1450系とその系統 ……写真: 太田正行ほか… 88

近鉄一般車を彩った行先表示板 ……解説: 清水祥史…164

近畿日本鉄道の電気機関車 ……解説: 澤内一晃…168

改軌前後(1970年)の近鉄賢島駅 ……溝口登志裕…170

近鉄の高性能一般車両にみるクロスシート車

……………写真: 稲垣康彦ほか…172

1970年代名古屋線の急行 ……写真: 佐藤 博ほか…176

近鉄の運転時刻表コレクション ……尾崎 幸弘…185

■本 文

今月の話題: 近畿日本鉄道 ……編 集 部… 9

総説: 近畿日本鉄道 ……近畿日本鉄道(株)広報部… 10

近畿日本鉄道の鉄道事業を語る ……加藤千明・今城光英… 18

営業設備, サービスと営業施策の展開 ……西本剛志・森本耕司… 26

輸送と運転, 近年の動向 ……古谷 元嗣… 33

駅, 列車区のあらまし ……古谷 元嗣… 44

大阪総合指令室の業務と役割 ……東 義 一… 48

車両総説 ……深井 滋雄… 55

車両保守体制と車庫・設備の概要 ……吉井 正人… 64

電力設備の概要 ……岩崎 義政… 89

信号・通信設備の概要 ……三重 和宣… 94

線路と保線 ……中村 大輔…100

近鉄の車両に携わって—印象深い車両回想— ……水谷 典夫…106

商号(社名)の改称と社章, 社名冠称駅名等の変遷 ……武部 宏明…111

生駒・青山を越えて—近畿日本鉄道をめぐる峠越え— ……三木 理史…120

近鉄の列車運転アラカルト ……寺本 光照…128

12000系列特急車の軌跡 ……藤井 信夫…142

近畿日本鉄道の電気機関車 ……澤内 一晃…149

近畿日本鉄道ケーブル駅のバラエティ ……大沼 一英…156

奈良電合併前の近畿日本鉄道・奈良電気鉄道時刻表 ……坂戸 直和…188

養老鉄道(近鉄養老線)異聞 ……清 水 武…190

名車モ2200系の想い出 ……長谷川 明…193

近鉄車両—主要機器のあゆみ— ……中山 嘉彦…196

近畿日本鉄道現有車両プロフィール&データファイル2018

……………林 基 ……209

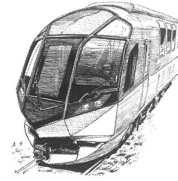
[現有車両主要諸元表・両数変遷・編成表 ……285]

後部車から ……310

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット: 松本一雄

近畿日本鉄道

2010(平成22)年に創立100周年を迎えた近畿日本鉄道は、近畿、東海の2府3県に501.1kmの路線を展開する大手民鉄で、路線網はわが国大手民鉄において屈指の規模を誇っている。輸送の内容も大阪、名古屋、京都など大都市圏の通勤・通学輸送、大阪・名古屋をはじめとした都市間輸送、伊勢志摩、奈良、吉野など自然と歴史文化に育まれた観光地への輸送、そして、地域内のローカル輸送など、まことに多彩であるが、一方ではそれゆえに鉄道事業の構築において、難しさも強いられている。一日平均の輸送人員は約158万人(2017年度)で、輸送人員は他の多くの大手民鉄同様に、1990年代前半をピークに社会状況の変化を受けて減少傾向が続いたが、2010年代後半以降は景気の回復、インバウンド需要の増加や諸施策の成果により微増に転じている。

2015(平成27)年、近畿日本鉄道は純粋持株会社制に移行し、近鉄グループホールディングスのもとで、鉄道事業子会社化された近畿日本鉄道として新たにスタートしている。近年は従来にないコンセプトによる観光特急を相次いで投入するなど、需要の創出を事業強化の重点として、2013(平成25)年にデビューした5000系「しまかぜ」や2016(平成28)年に南大阪線・吉野線で登場した「青の交響曲(シンフォニー)」は高い人気を博している。一方、安全への取り組みを一段と加速させるとともに、かつて自動改札システムの開発などで実績があげ、近鉄の伝統とも言える鉄道をめぐる新しい技術開発にも積極的な取り組みが進められ話題となっている。2020年春には新型名阪特急車の誕生が予定されており、さらにはしばらく動きが少なかった一般車についても新たな動きが出てきそう。今後の動向を注目するとともに、事業のさらなる飛躍を期待したい。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan